

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成24年9月15日

vol.9

発行 武蔵野市環境生活部ごみ総合対策課
住所 〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5武蔵野クリーンセンター内
電話 0422-60-1802
E-mail sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/



マイバッグからはじめる プチ 2012年10月 エコキャンペーン



いらないレジ袋はもらわない…環境にやさしい買いものを

お店で買い物をするともらえるレジ袋。私たちの生活を便利にする一方で、「使い捨て社会」の象徴にもなってきました。

『いらないレジ袋はもらわないことで、ごみを減らして、一人ひとりの環境意識を変える』ことをめざして、武蔵野市ではレジ袋削減に長い間取り組んでいます。今年も環境省・自治体・流通事業者団体などが全国的に取り組む『環境にやさしい買い物キャンペーン』にあわせ、10月に『マイバッグからはじめるプチエコキャンペーン』を実施します。

スーパーマーケットと、レジ袋削減に取り組んでいます！

武蔵野市では、スーパー12社と協定をむすんで、協働でレジ袋削減に取り組んでいます。今年もオリジナルマイバッグ作り・アンケート・会社帰りのお客様への携帯マイバッグ配布など、さまざまなイベントを開催します。

～協定協力店12店～

株式会社アトレ 株式会社イトーヨーカ堂 株式会社エコス 株式会社紀ノ国屋
株式会社グルメシティ関東 株式会社京王ストア サミット株式会社
生活協同組合コープとうきょう 合同会社西友 株式会社東急ストア
株式会社ビッグ・エー 株式会社ライフコーポレーション

プチエコアンケート



マイバッグを作ろう



マイバッグからはじめる
プチ
エコキャンペーン

「もらわないという「エコ」
Musashino

お買い物には
マイバッグを

武蔵野市商店会連合会
武蔵野市

お買い物は地元商店会へ

吉祥寺地区

マイバッグからはじめる
プチ
エコキャンペーン

お買い物には
マイバッグを

「もらわないという「エコ」
Musashino

武蔵野市中央地区商店会連合会
武蔵野市

お買い物は地元商店会へ

中央地区

マイバッグからはじめる
プチ
エコキャンペーン

お買い物は
マイバッグで

SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN
SAKAI SHI-BEN

集団回収に
参加しよう！

武蔵境商店会連合会 武蔵野市

武蔵境地区

地元商店会にも マイバッグを持って買い物に行こう！

武蔵野市の活気ある商店会、お気に入りのあの店もレジ袋の削減に取り組んでいます。マイバッグをもって地元のお店に出かけましょう。

境商連エコキャンペーン
キャンペーン期間中レジ袋をことわった方に
協力店からファミリースタンプを差し上げます。

とりにくいです！
自主回収

自主回収とは・・・
新聞販売店がお届けした新聞を自主的に回収するサービスです。

ASA三鷹北口
（株）武蔵野三鷹新聞販売
代表取締役
金子健一さんに伺いました



自主回収を始めて25年以上になります。お客さまへの平等なサービスとして何が出来るかを考えた時、自主回収は良い方法だと思います。回収の方法は、①事前に読者に回収日を知らせるチラシを配布しておく②回収当日は社員と古紙回収業者とが一緒に回収に回り、社員が回収して業者のトラックへ積み込むという方法です。雨天決行、毎月の回収日を固定することでの安定的な回収がお客さまへの信頼につながっていると思います。また、個別に古紙回収の問い合わせがあれば、配達時に回収したり、声掛けや挨拶などのコミュニケーション作りやきめの細かい対応を心掛けています。中途半端な気持ちではなく、一歩踏み込んだ気持ちで、これからも頑張ります。



新聞紙を回収し、ロールペーパーを置いていきます。



トラックに積み込みます。

ごみ減量協議会から

がんばってます！
集団回収

集団回収団体の活動紹介

集団回収とは・・・
自治会や管理組合、子供会などのグループで協力し、古紙類、古着、アルミ缶、牛乳パックなどの資源を回収するリサイクル活動です。

学校を拠点に地域ぐるみで

毎月第2土曜日、学区域内にある9ヶ所の拠点で集団回収をしています。回収品目は、新聞（広告含む）、雑誌、段ボール、牛乳パックなどの紙資源、古布（古着含む）などです。回収で得た収益が学校に還元されることから、現在小学校に通う方はもちろん、小学校を取り巻く地域の方や卒業生の方が快く回収に協力しています。まさに、地域に根ざした活動となっています。活動で得た収益の使い道は、教員だけでなく地域の関係団体の方々からのご意見もいただき決めています。この度、新しく購入したテントは、運動会でお披露目され、青少協の夏まつりや地域と学校の合同防災訓練で活躍しました。今後もこうした環境を守るための地道な取り組みが、学校を拠点とした地域ぐるみの活動に好循環の働きとなるよう取り組んでいきます。

武蔵野市立第一小学校
PTA校外委員会



収益金で購入したテント

生ごみは宝

生ごみを資源化しましょう

生ごみを「燃やすごみ」にしないで、土に返すことは「資源循環の輪をつなげる」重要なことです。ごみ減量の手法の一つとしても有効です。

土型醗酵くプランターや植木鉢の土がよみがえり、簡単に元気野菜・花が育ちます！>

- 花や野菜を育てた後の土が、生ごみで元気によみがえります。
- ①体積比 生ごみ1に対して土3の割合で、生ごみにぼかしをまぶしたあと、土と混ぜ合わせる。（土は常にしっとりがコツ）
 - ②できた土をプランター（植木鉢）に入れ、雑草（なければ新聞紙）をかぶせて、雨に濡れないところにおいておく。（冬はビニールでくるみ保温）
 - ③入れた日から3日目、1週間目、2週間目に外にあげて混ぜ、また戻す。
 - ④最初から1か月余り置くと、種まき、苗植えができる土になります。（ぼかしは市役所8階売店、紀ノ国屋、南町コミセンにあります。）



土をブルーシート等の上に広げ、その上に細かく切った生ごみを広げぼかしをまぶした後よく混ぜます。

生ごみ堆肥化に取り組む市民の交流や情報を交換していくために「生ごみから元気土、元気野菜交流会」を毎月第3日曜日午後1時～3時に南町コミセンで開催しています。

問い合わせ先 今木さん 電話44-8744

前田さん 電話28-6990へ。

<コンポスター>お庭のある方におすすめ。
1㎡あればでき、雑草や落ち葉も入れられます。補助制度があり、3000円の負担で購入できます。



ごみ減量協議会では武蔵野クリーンセンター内にコンポストガーデンを設置し、生ごみ堆肥を使った農作物の栽培実験に取り組んでいます。今年はおいしいトマトとキュウリが大収穫！

<生ごみ活かす君（段ボール法）>
集合住宅のベランダでもできます。土壌中の微生物によっておこる有機物分解を、段ボールの中で行います。



コンポスター、生ごみ活かす君についてのお申込み・ご連絡はクリーンむさしのを推進する会
月・水・金 9時～4時 51-5131（内線712-391）



ごみを処理するために約35億円が使われています！！

ごみを環境に配慮し安全に処理するために、多額の費用がかけられています。限られた財源を有効に使うためにも、ごみを減らすことで、これらの費用を節約することが大切になっています。

ごみ処理経費内訳
（平成23年度実績）

処理人口138,277人
（平成23年度月別平均人口）

年間一人当たり
約25,000円

最終処分場負担金等
約4億円（約12%）
ごみの最終処分場（エコセメント化施設含む）を運営するために使われています。

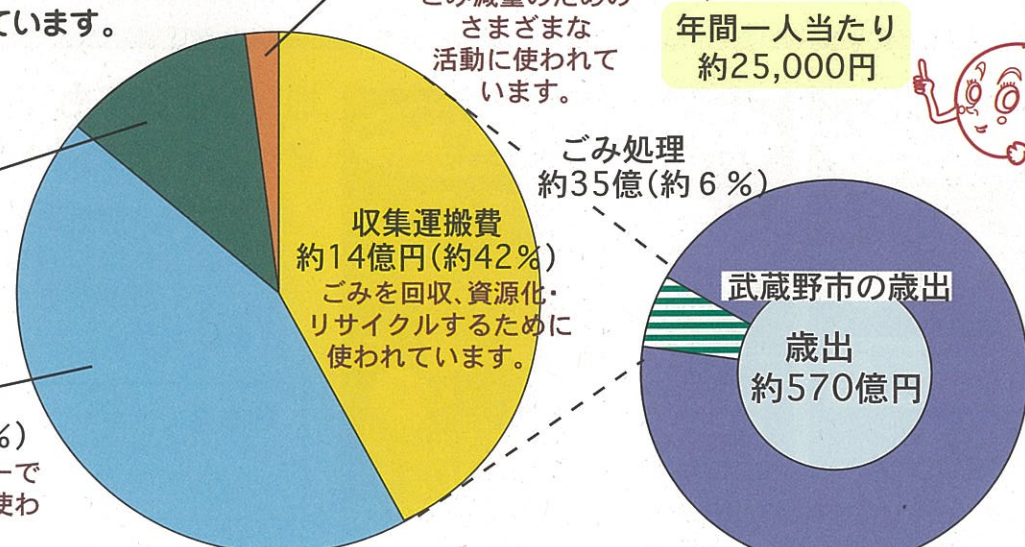
減量資源化対策費
約8千万円（約2%）
ごみ減量のためのさまざまな活動に使われています。

ごみ処理
約35億（約6%）

収集運搬費
約14億円（約42%）
ごみを回収、資源化・リサイクルするために使われています。

武蔵野市の歳出
歳出
約570億円

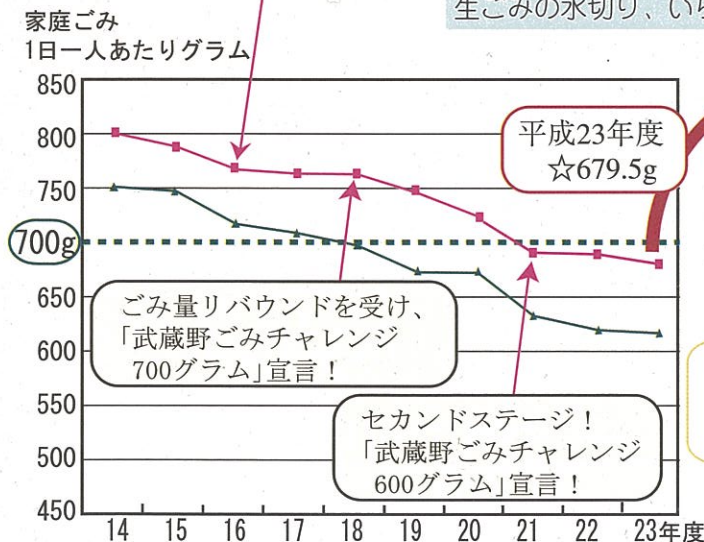
中間処理費
約15億円（約44%）
武蔵野クリーンセンターで
ごみを処理するために使われています。



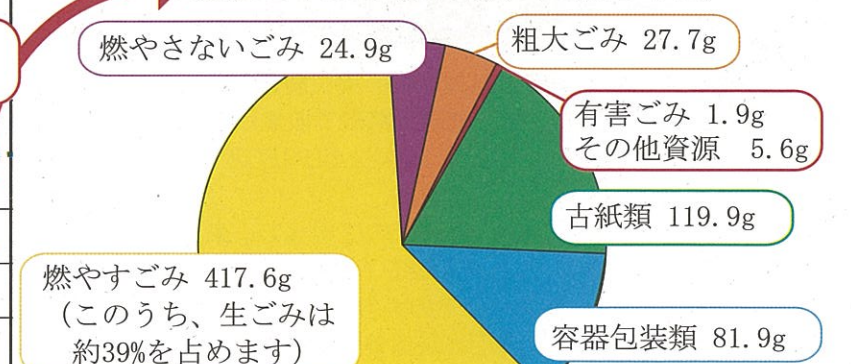
家庭ごみ1日一人あたりのごみ量推移 と 家庭ごみの内訳

家庭ごみ（可燃・不燃）有料化により、資源化が進みました。

武蔵野市では一日一人あたりのごみ量600g以下をめざす「セカンドステージ！武蔵野ごみチャレンジ600g」を宣言しております。23年度のごみ量は平均679.5gでした。生ごみの水切り、いらぬものはことわるなど、ごみ減量のご協力をお願いいたします。



家庭ごみ679.5gの内訳（平成23年度）



●古紙類：古紙+古着 ●容器包装類：ビン+缶+ペットボトル+その他プラスチック製容器包装
●家庭ごみ1日一人あたりのごみ量：家庭ごみ（集団回収による資源ごみ量は含まない）を、人口と年間日数で除したもの

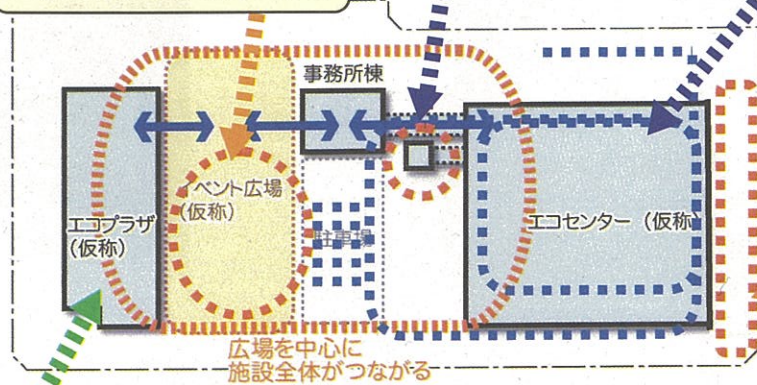
新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設イメージ

平成23年9月に設置した「新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備協議会」は周辺住民・市民団体・学識経験者・市により、新しいクリーンセンターの施設イメージと周辺まちづくりを検討しています。

○イベント広場
(足湯・フリーマーケット
・子どもの自由な遊び場…)

○煙突は再利用

○エコセンター(仮称)工場棟
平成29年度稼働予定
・清掃工場としてごみの分別、破碎、焼却
・エネルギー供給施設として、ごみ発電、
ガスコージェネレーションを装備。
災害時も発電対応可。
・ごみ処理やリサイクルの仕組みが楽しみ
ながら理解できる見学コース



○コミュニティスペース
・オープンな歩行空間
・プラットホームがのぞける窓

エコプラザ(仮称)のコンセプト 平成31年度開設予定

- 現施設の事務所棟等を再利用し、環境啓発施設にリニューアル
- (1) 学び(ごみから学ぶ)
 - (2) 創造(ごみから新たな価値あるものをつくる)
 - (3) コミュニケーション(ごみを媒介に対話を生み出す)

環境講座の実施



おもちゃのかえっこ



第5回むさしの環境フェスタを開催します



第4回フェスタブース

自然環境の保全や地球温暖化防止、ごみの減量などの様々な環境問題について、楽しみながら学び考えることができるイベントです。

会場となる武蔵野クリーンセンターは、平成29年度に新施設稼働を目指した建替えが計画されており、市民の皆様には施設を知ってもらうため、焼却施設内部の見学ツアーも企画しております。環境問題の解決には多くの人の力が必要です。持続可能な社会を築き、地球環境をより良いものとして次世代に引き継いでいくため、まず自身でできる範囲から変えていきましょう。

日時 10月21日(日)
10:30~15:30

場所 武蔵野クリーンセンター
※ お車でのご来場はご遠慮ください

落ち葉・枝木を資源化しています



落ち葉や剪定した枝木を、束・袋合わせて4個から最高50個まで無料で収集し資源化しています。ごみ総合対策課(0422-60-1802)に予約してください。

- ・ 枝木は、太さ7cm、長さ50cm以内に切って、束の直径50cm以内の大きさに束ねて下さい。
- ・ 落ち葉や草は、45リットルまでの大きさの透明または半透明の袋(市指定有料ごみ袋以外)に入れて下さい。
- ・ 草についた土は、よく落として下さい。ごみが混ざっていると資源化できないので、回収しません。

事業所の落ち葉・枝木は…

事業所用の市指定のごみ袋でごみを排出している事業

所は、左記の方法で収集しますが、有料での収集になりますので、枝木の束には45リットルの市指定ごみ袋を結び付けてください。また草葉は45リットル以内の市指定ごみ袋に入れてください。

注) 次の場合は、有料収集になりますので、ご注意ください。

◎ 束と袋合わせて50個を超えたものを、一度にまとめて収集を依頼する場合は粗大ごみ扱いになります。

※ 木の板や造花など、加工してあるものは枝木・草葉として収集できません。市指定有料ごみ処理袋に入れ、「燃やすごみ」としてお出してください。